

科目名	福祉社会とアダプテッドスポーツ				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	3 年次
教員名	奥田 睦子			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

近年、スポーツ界全体において、これまでスポーツ参加の機会が十分に保障されてこなかった障がいのある人に、スポーツ参加の機会を保障することが求められている。人間の多様性を尊重しつつ共に生きることが求めている現代社会において、スポーツという一つの文化的活動においても多様性の尊重とその保障が求められることは当然である。しかしながら、必ずしもそれが保障されていないのが現状である。

本授業では、障がいのある人のスポーツに焦点をあて、なぜそれが保障されずらいのか、その理由を「社会とスポーツ文化の関係性」の観点から講義したり、可能な範囲で「人の側に用具やルールを合わせたスポーツ」を体験していただき、多様性の尊重とその保障に必要な考え方とはどのようなものであるのかを、実体験も通じて考えていく。

また、多様性を尊重できるスポーツについて、臨機応変に創っていくための着眼点についても説明すると共に、実際にそれに即して創っていくことを行う。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンドについては、2月上旬頃の配信を予定している。詳細は、授業時にアナウンスする。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業概要や進め方等の説明

授業の到達目標の進め方、評価方法等について説明する。

第2回 テーマ：障がいのある人のスポーツの意義と理念（1）

障がいのある人のスポーツ参加が与える影響の範囲や影響の内容等について、説明する。

第3回 テーマ：障がいのある人のスポーツと意義と理念（2）

障がいのある人のスポーツ参加における目指すべき方向性について、説明する。

第4回 テーマ：視覚障がいのある人のスポーツ

視覚障がいおよび視覚障がいのある人のスポーツの方法について、説明する。

第5回 テーマ：視覚障がいのある人のアダプテッドスポーツ体験

視覚障がいのある人の、アダプテッドスポーツ体験を行う。

第6回：テーマ：卓球台を用いたアダプテッドスポーツ体験

卓球台を用いた卓球バレー体験を行う。

第7回 テーマ：障がいのある人のスポーツとアイデンティティについて

石川准氏の「アイデンティティの政治学」を手掛かりとして、障がいのある人にとってのスポーツの意味とスポーツにおける障がい者と健常者の統合の方法について考える。

第8回 テーマ：中間のまとめ

第2回～第7回までの内容に関することについてレポート課題を行う。

第9回～第11回 テーマ：スポーツを創る

スポーツを身体的、社会的、精神的、経済的要素から分析を行い、それらを利用して「プレイ」の要素を活かし

てスポーツをアレンジしたりスポーツを創ったりする。

第12～13回 テーマ：アダプテッドスポーツ体験（3）（4）

重度の障がいのある人のために考案されたボッチャを行う予定である。

第14回 テーマ：全体のまとめ

全体の内容に関することについてレポート課題を行う。

★ オンデマンド（90分相当）

テーマ：全体のまとめに関する講評とドイツの地域における障がい者スポーツの事例紹介とを行う予定である。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：授業概要や進め方等の説明

〔事前学修〕 シラバスを読んでおくこと

〔事後学修〕 再度シラバスを読んでおくこと

第2回 テーマ：障がいのある人のスポーツの意義と理念（1）

〔事前学修〕 障がいのある人と無い人とが共に行うスポーツについて、本やインターネット等で調べて関心をもっておくこと

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第3回 テーマ：障がいのある人のスポーツの意義と理念（2）

〔事前学修〕 障がいのある人と無い人とが共に行うスポーツについて、本やインターネット等で調べて関心をもっておくこと。

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第4回 テーマ：視覚障がいのある人のスポーツ

〔事前学修〕 視覚障がいのある人のスポーツについて、本やインターネット等で調べて関心をもっておくこと。

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第5回 テーマ：視覚障がいのある人のアダプテッドスポーツ体験

〔事前学修〕 視覚障がいのある人のスポーツについて、本やインターネット等で調べておくこと

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第6回 テーマ：卓球台を利用したアダプテッドスポーツ体験（2）

〔事前学修〕 卓球パレーについて、本やインターネット等で調べておくこと

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第7回 テーマ：障がいのある人のスポーツとアイデンティティについて

〔事前学修〕 石川准氏の「アイデンティティの政治学」について、事前に読んでくこと

〔事後学修〕 授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第8回 テーマ：中間のまとめ

第9回～第11回：テーマ：スポーツを創る

〔事前学修〕 障がいのある人や高齢者が実施しているスポーツについて、自分たちが行っているスポーツと同じ点や異なる点について考えておくこと

〔事後学修〕授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第12回 テーマ：ボッチャを用いたアダプテッドスポーツ体験（1）

〔事前学修〕障がいのある人のスポーツについて、本やインターネット等で調べておくこと

〔事後学修〕授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第13回 テーマ：ボッチャを用いたアダプテッドスポーツ体験（2）

〔事前学修〕障がいのある人のスポーツについて、本やインターネット等で調べておくこと

〔事後学修〕授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第14回 テーマ：全体のまとめ

〔事前学修〕これまでの自分自身のスポーツ実践を振り返り、社会とスポーツとの関係性について類似点を考えておくこと。

〔事後学修〕授業の内容をまとめ、理解しておくこと

第11回 テーマ：第2回～第10回までのまとめと小テスト

〔事前学修〕第2回～第10回までのノートやプリント等を見直しておく

〔事後学修〕第2回～第10回までのノートやプリント等を見直しておく

★オンデマンド：全体のまとめの講評とドイツのインクルーシブスポーツについての解説

〔事前学習〕事前に提示する文献を読んでおくこと（安井友康・千賀愛ほか『ドイツのインクルーシブ教育と障害児者の余暇・スポーツ 移民・難民を含む多様性に対する学校と地域の挑戦』（明石書店）から選択予定）

〔事後学習〕授業の内容をまとめ、理解しておくこと

※ 事前に提示する課題および授業の順番等について、変更になる可能性もあります。変更の場合はその都度、授業中やmoodleを使用して連絡します。

※ 各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・障がいのある人のスポーツの様々な課題について、課題が生じる背景について歴史的、社会的な背景から社会的に考察し、説明ができる。
- ・アダプテッドスポーツについて、スポーツを創るための基本的な手順がわかる。
- ・アダプテッドスポーツの現代社会における意義が、説明できる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・倫理性
- ・創造性

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・体育館で実施することがある場合には、授業やmoodle上等で連絡をします。したがって、授業を欠席した場合には、友人やmoodle等から授業についての情報収集を行うようにしてください。

評価方法／Evaluation

- ・平常点100%（ディスカッションへの参加状況、レポート課題、小テスト含む）。

教材／Text and materials

【参考文献】

井上俊・菊幸一編著『よくわかるスポーツ文化論』（ミネルヴァ書房）

井上俊・亀山佳明編著『スポーツ文化を学ぶ人のために』（世界思想社）

齊藤まゆみ編著『教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学』（大修館書店）

田中暢子・松本格之祐ほか編著『実践で学ぶ！学生の社会貢献—スポーツとボランティアでつながる』（成文堂）

松田恵二・松尾哲矢ほ編著『福祉社会のアミューズメントとスポーツ—身体からのパースペクティブ—』（世界思想社）

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・授業に関する質問や相談などがある場合は授業終了後に質問するか、moodle上でお知らせするメールアドレスにご連絡ください。